

# 慶和園



## 慶和園にも新型コロナの猛威

11月下旬より養護老人ホーム慶和園(建物2階エリア)において新型コロナ感染症が猛威を振っています。11月27日、微熱の症状が見られた方が居り簡易検査を行ったところ陽性反応が。直ちに、静養ゾーンにある別室にて健康観察の対応(10日間)を行っています。以降、日にちの経過と共に数名のご利用者が罹患され、複数名の方が静養ゾーンでの生活を余儀なくされました。12月12日現在、累計10名の方が罹患(ご利用者8名、職員2名)され、現在利用者3名・職員1名が静養中(6名の方が静養期間を終了)です。幸いにも皆様の症状は軽症で、こ



こまで病院への入院ケース等はなく経過されています。

感染症予防対策により、2階養護ご利用者の皆様には、自室内での生活を余儀なくされており、精神的、身体的にも多大なるご負担をおかけしていますこと、深くお詫び申し上げます。また、ご家族、関係機関の皆様にもご心配をおかけしており、1階特養エリアの皆様も含めて、ご家族様等の面会を自粛いただく対応を行っております。収束まではもう少し時間がかかりそうですが、職員一丸となってこの危機を乗り越えて参りたいと存じます。引き続きのご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

### ～ご利用者に訊く～ 私の歩みかた



めいすいユニット 98歳  
**藤波 小波 様**  
慶和園在住：4年5ヶ月

藤波小波様は喜茂別町知来別のご出身で、喜茂別町の国鉄にて鉄道員として勤務されておりました。22歳で結婚され京極町にお住まいになり、2男1女に恵まれました。家業の酪農業を営みながら、京極町の婦人部長や後志農協の婦人部会長の公職も歴任され、さらには趣味の日本舞踊も活動的に行

うなど、公私ともに充実した生活を送ってこられています。亡きご主人様との結婚生活を振り返ると「好きな事させてもらった。優しい人だったよ」と牛飼いの話などもされておりました。昔の思い出としては踊りをしている時が一番楽しかったそうです。長生きの秘訣をお聴きすると「そうだね～お友達と仲良くする事。誰とでも話して笑う事。」と笑顔で即答されておりました。昔からの経歴もあり普段から人への気配りや目配りをさりげなくされておられます。また、いつも女性としての身なりに心掛けて、常に凜とされている事が長生きの秘訣のように感じています。

『慶和園だより』NO.263 令和4年12月12日発行  
〒044-0132 虻田郡京極町字更進780番地1  
TEL(0136)42-2201 FAX(0136)42-2209  
編集発行：老人福祉施設 慶和園 広報委員会  
発行責任者：施設長 澁谷 剛

※「慶和園」だよりに掲載の個人情報は、ご本人もしくは、ご家族様の許可を得て使用させて頂いております。

◎今月の羊蹄山：寒さも厳しくなって参りました。降雪が続きますと日差しも少なくなります。つかの間の晴れ間に感謝の羊蹄山でした。

### 慶和園のDSI

多様な価値観・働き方を紹介

### 冬季期間のお付き合い

養護 酒井支援員



養護ユニットで支援員をしています酒井智美(さかいともみ)です。2014年12月から養護老人ホームの支援員として冬の期間働かせて頂いています。働き始めた当初、新館が出来たばかりの頃で、右も左も

解らず特養に転居する利用者さんについて、お名前も顔もよくわかっていないまま引越しのお手伝いをしたのを覚えています。それから毎年冬の期間(11月～4月の6ヶ月間。夏は畑仕事をしています。)に働かせていただき、気が付けば9年目に突入してしまいます。養護ユニットは、とても明るく雰囲気の良い職場です。特養職員との交流もあり、個性豊かなスタッフに囲まれて楽しく仕事させて頂いています。利用者さんも様々な人がいてコミュニケーションを図る際もいろんな話を聞かせていただけるのが楽しいです。皆さんが毎日少しでも楽しい1日だったなと思えるよう携わっていけたらと思います。

### -慶和園運営方針-

- ・慶和園はひとつ。ご利用者・職員で慶(喜)びの和を大切にします。  
- 私たちは、チームでご利用者の想いを実現させます -
- ・慶和園は一人ひとりを大切にします。  
- 私たちは、自分以外の全ての人に真心をもって親切丁寧に接します。
- ・慶和園は地域とのつながりを大切にします。  
- 私たちは、地域における役割りを理解し信頼を得られる行動をとります。





慶和園「わたしたちの深化・進化」  
～各ユニット・取組の進捗状況のご報告～

めいすいせせらぎユニット  
「多職種協働の実践」

2022年度の慶和園運営テーマは、「ご利用者のために深化宣言！」  
～私たちも進化しよう！！～  
今年度も半分が過ぎ、各セクションにおけるしんかの取組の進捗状況についてご報告させていただきます。今月は「めいすいせせらぎユニット」からの報告です。



めいすい・せせらぎユニットの進化宣言として「多職種協働」を意識しながら取り組んできました。それぞれの職種を理解しあい助け合いご利用者様と向き合っている最中です。

これにより多職種が一緒になってご利用者様と向き合い、互いの立場を理解しあえる事が出来ます。そこから思いやりの気持ちを持ち何でも言い合える仲間づくりが出来ると考えております。

私たちのユニットではカンボジア・ベトナム・インドネシアからの介護職員を受け入れており、昨年からのそれぞれの母国の料理をご利用者様へ提供する企画を行っています。このような多彩な取組みを体験するなかで、多種多様な文化に触れて共生していくことも、個々に進化する事につながるものと考えています。



畑クラブ納会・地域メンバー送別会

11月9日、畑クラブでは今シーズンの締めくくりとして納会を開催。5月からの活動を写真で振り返りお互いの労をねぎらうと共に、来シーズンに向けて取組み内容の確認を行いました。

また、この度地域メンバーであります柳原様（南京極町内会顧問）が、京極町を離れることとなったこと

を受け、ささやかながら送別会を行わせていただきました。約20年に渡り慶和園の運営にご協力頂いた柳原様にご利用者、職員で感謝の意をお伝えしています。



【ご厚志に感謝いたします。】

11月1日～30日分 << 順不同・敬称略 >>

【寄付品】 フナバファーム(京極町)-辻利雄(同)-藤波秀博(同)-加賀谷多美子(同)-尻引基記(俱知安町)-黒崎友子(同)-山田英男(同)-瀧上真希子(同)-高橋玲子(札幌市)-嶋光枝(同)-武藤ユキエ(登別市)-佐野寛子(喜茂別町)-大木良春(洞爺湖町)-ヨシヤ松本(小樽市)

【寄付金】 桜井長義(京極町)-山田英男(俱知安町) 以上

【2022年12月10日 ～ 1月の行事予定】

【12月】	【1月】
20日 避難訓練(地震想定)	1日 元旦
22日 出張理容(サロンドシエル)	慶和園新年交礼会
26日 出張理容(竹山美容室)	8日 出張理容(菅原理髪店)
28日 正月飾り・カレンダー配布	9日 出張理容(サロンドシエル)
31日 大晦日	23日 出張理容(竹山美容室)



職員互助会企画 外国人交流企画

楽しむ！パン作り

慶和園職員互助会では、外国人職員との交流もかねて毎月いろいろな企画をたて活動しています。11月は「パン作り体験」。講師に管理栄養士の吉川由紀子さんをお招きし、15、17日の両日公民館の調理室で開催しました。

まずはパン作りから。混ぜて、こねて、ねかせて発酵をしている間に簡単においしくできる3品の料理も教えていただきました。そろそろ、発酵が終わりトッピング作りと成形です。丁寧に丁寧に丸めて成形し、オーブンの中へ。教えていただいた料理を試食しながら、焼き上がりを待ちます。

ほんのりと甘い香りが漂いドキドキしながらオーブンのドアを開けると『わあ～！！』という歓声、美味しい“バルーンパン”が出来上がりました。

ほんのひととき、おなかいっぱい、ほっこり幸せな気分を味わった企画でした。



～ 相手の心を想う ～ 副施設長が考えたこと。

相手の心を「想う」なぜ「思う」を使わないのか自分なりに考えました。想うは「心に感じるまま思い浮かべたこと」、思うは「頭の中で思い浮かんだこと」とのこと。「未来への想い」など「想い」は創り出す時に使われるそうです。相手のことを心に感じ共に未来を創り上げていくことなのだとは「思いました。私たちにはもう一つ大切な「憶い」があります。心の中に残っていて忘れない、過去を思いやるという意味をもつ言葉です。過去の方々との関りが今の私たちを創っていると「想い」ます。

副施設長 山中 幸代